

神奈川県が、県立平塚中等教育学校の歴史教科書に「つくる会」系の歴史教科書を採択したことに抗議し、採択の撤回を要求する

本年8月2日、神奈川県教育委員会は、2012年4月から神奈川県立平塚中等教育学校の歴史教科書に、育鵬社の歴史教科書を採択した。

育鵬社の歴史教科書は、「新しい歴史教科書をつくる会」から分裂した「教科書改善の会」が出版した歴史教科書であるが、その内容は、日清・日露戦争以降の日本の戦争を美化して侵略や戦争の歴史を偽るものであり、かつ、日本国憲法をGHQから押し付けられた憲法であると決めつけるものである。一言でいえば、「戦争をする国」を担う国民を育成しようとする教科書である。

現在、日本全国で、育鵬社の歴史教科書の採択をしてはならないという市民の声が高まり、各地の教育委員会で、育鵬社の歴史教科書が不採択となっている。今回の神奈川県教育委員会の県立平塚中等学校に関する採択は、このような市民の反対を無視したものである。

また、上記採択は、県立平塚中等学校から出された答申を受け入れたものとされている。しかし、一旦は、当該答申に至る審議過程などが不透明であることなどから継続審議となっていたところ、結局、これらの問題点が何ら明らかにされることもないまま採択がなされており、その審議は著しく不当・不十分であり、結論ありきの採択であると断ぜざるをえないものである。

このような採択が、子どもと日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

われわれ自由法曹団は、神奈川県教育委員会が県立平塚中等学校に育鵬社の歴史教科書を採択したことに対し、抗議するとともに、ただちにこの採択を撤回し、改めて十分な調査研究に基づく採択をやり直すことを要求するものである。

2011年8月4日

自由法曹団
団長 菊池 紘
自由法曹団神奈川支部
支部長 森 卓爾